

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

学びをデジタルで記録し、参照し合う（協働的な学びへ）

授業の際の振り返りをデジタルに置き換え、参照し合う実践に力を入れてきた。写真上は体育科の振り返りシートである。動画で記録したデータを貼り付け、気付いたことや話し合ったことなどを文章で蓄積している。自分の学びを俯瞰でき、成長が視覚的にも分かることは、自ら学びに向かっていくこと、自己調整的に学ぶ姿へとリンクしていくことになるのではないだろうか。

美術科では、以前から個別最適な学びに取り組んできた。授業のめあてや評価に関わるポイントなど事前にクラウドで共有し、指定された時間内であれば進め方は個人に委ねている。美術室の環境整備に力を入れ、誰でもいつでも必要なツールにアクセスできたり、表現方法の試行ができたりする環境を整えた。学習形態も個人に任せている。

振り返りは、パワーポイントを使用し、1時間ごとの学びを写真や動画とともに文章でも記録している。最終的には、それらをまとめて全体に向けてプレゼンテーションすることになっている。毎時間の振り返りは、他者参照でき、次時のモチベーションアップや更なる探究につながっていくと考えている。

他者参照ができるようになってから、振り返りの質が高まったと感じている。

陸上競技【ハードル走】

単元目標	リズムカルな走りですムーズに走り、タイムを縮めよう					
時	学習課題	課題に対する自分の答え	振り返り	出来たこと・良かったこと・次の課題・動きのポイント・意識したこと等を具体的に	A時の走り [動画]	歩数 下駄
1	ハードル走で大事なことはなんだろうか？	歩幅を合わせてリズムよく走ること	振り返り	走り始めるために高く飛び歩幅を合わせる事が大切だと思った。10歩、右、左、高く跳ぶとタイムはどうなりそう？	[動画]	
2	最初の走は多少タイム短縮にどのくらい関係しているだろうか？	低い姿勢で走りここと 速くから踏み切る＝低い姿勢になること	振り返り	またために低い姿勢を維持してあまり速く飛びすぎることです。	[動画]	
3	ハードルを越える姿勢はどのようにするのだろうか？	体を前に少し斜めに倒して越えること	振り返り	姿勢を低くして足に脚を近づけてハードルを飛び越えることが正しいと思った。	[動画]	
4	ハードルを越える姿勢はどのようにするのだろうか？	歩幅を合わせること	振り返り	足に手を付けるようにハードルを飛び越えるようにしています。歩幅がたまに合わないときがあるのは歩幅を合わせる練習を繰り返さないです。 <i>歩幅を合わせる練習を繰り返さないです。</i>	[動画]	
5	まとめの走りをして自分の課題に合わせて	歩幅と姿勢を低くすること	振り返り	ハードルの振り向きを飛び越えるようにしたら、タイムが少し縮むことができました。 <i>歩幅を合わせる練習を繰り返さないです。</i>	[動画]	
写真を通しての振り返り		うまく飛び越えるには、タイムを速くするのにも大切だと姿勢を低くすることや歩幅を合わせた方がいいと思います。 <i>姿勢を低くするのにも大切だと姿勢を低くすることや歩幅を合わせた方がいいと思います。</i>		50Mタイム 10.32		50Mタイム 8.56
				1.76		

(体育科の振り返りシート)



(美術科の振り返りシート パワーポイント)



美術科の振り返りを参照できるようにしている